

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
①	一般国道58号 <small>オンナミナミ</small> 恩納南バイパス <small>オンナソウ</small> (恩納村)	平成2年度 360億円	<p>事業区間: 沖縄県国頭郡恩納村字南恩納 ~ 国頭郡恩納村字仲泊</p> <p>延長 : 6.5 km (全区間 4車線)</p> <p>【区間①】(延長2.1km) 恩納村字南恩納~恩納村字谷茶 ・平成27年度 一部の区間2車線、一部の区間で4車線供用予定</p> <p>【区間②】(延長4.5km) 恩納村字谷茶~恩納村字仲泊 ・平成21年度 一部の区間2車線、一部の区間で4車線供用済</p> <p>(注) 延長については、四捨五入の関係で全体延長と各区間の合計が異なる。</p>	全区間4車線中、早期の2車線供用に向けて、事業進捗を図る。	<p>国道58号は、沖縄本島西側を南北に走る大動脈で、本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路である。恩納南バイパスは、美しい海岸線が続き、リゾートホテル、ビーチなどが集中している本県有数のリゾート地である恩納村内の観光シーズンにおける交通渋滞緩和、国道58号の交通安全確保及び沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p><u>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実に努めます。</u></p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
②	一般国道329号 ^{ヨナバル} 与那原バイパス ^{ニシハラ} (西原町 ・ ^{ハエバル} 南風原町)	平成4年度 470億円	<p>事業区間: 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 ～ 島尻郡南風原町字与那覇</p> <p>延長 : 4. 2km (全区間 4車線)</p> <p>【区間①】(延長0.7km) 西原町字小那覇～西原町字東崎 ・平成25年度 2車線供用予定</p> <p>【区間②】(延長0.5km) 西原町字東崎 ・平成17年度 2車線供用済</p> <p>【区間③】(延長0.5km) 西原町字東崎～与那原町字与那原 ・平成22年度 2車線供用済</p> <p>【区間④】(延長1.7km) 与那原町字与那原～南風原町字与那覇</p> <p>【区間⑤】(延長0.8km) 南風原町字与那覇 ・平成27年度 2車線供用予定</p>	全区間4車線中、早期の2車線供用に向けて、事業進捗を図る。	<p>国道329号は、沖縄本島の太平洋側と東シナ海側を結ぶ大動脈であり本島の南部地域と那覇市を結ぶ主要幹線道路である。与那原バイパスは、通過交通と域内交通が輻輳し、特に朝夕の交通混雑が著しい西原町～与那原町間の交通混雑緩和と那覇空港自動車道と一体となって広域ネットワークを形成することにより、マリンタウンプロジェクト等関連事業の支援と地域の活性化に寄与する事業、観光産業の支援に大きく寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p><u>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</u></p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
③	一般国道329号 ^{ハエバル} 南風原バイパス ^{ナハシ} (那覇市・ ^{ハエバルチヨウ} 南風原町)	平成7年度 450億円	<p>事業区間: 沖縄県島尻郡南風原町字与那覇 ~ 那覇市上間</p> <p>延長 : 2.8km (全区間 4車線)</p> <p>【区間①】(延長0.3km) 南風原町字与那覇~南風原町字宮平 ・平成16年度 2車線供用済</p> <p>【区間②】(延長1.2km) 南風原町字宮平~南風原町字新川 ・平成27年度 2車線供用予定</p> <p>【区間③】(延長0.2km) 南風原町字新川 ・平成17年度 4車線供用済</p> <p>【区間④】(延長0.3km) 南風原町字新川~那覇市真地 ・平成22年度 4車線供用済</p> <p>【区間⑤】(延長0.8km) 那覇市真地~那覇市上間</p>	全区間4車線中、早期の2車線供用に向けて、事業進捗を図る。	<p>国道329号は、沖縄本島の太平洋側と東シナ海側を結ぶ大動脈であり本島の南部地域と那覇市を結ぶ主要幹線道路である。南風原バイパスは、通過交通と域内交通が輻輳し、特に朝夕の交通混雑が著しい南風原町~那覇市上間間の交通混雑緩和と那覇空港自動車道と一体となって広域ネットワークを形成することにより、地域の活性化に寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p><u>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</u></p> <p>このため、<u>道路の整備</u>については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハジゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、<u>那覇都市圏の交通の円滑化</u>を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、<u>道路利用者の利便性や快適性の向上</u>を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
④	一般国道331号 <small>ナカヤマカイリョウ</small> 中山改良 <small>ナンジョウ</small> (南城市)	平成2年度 88億円	事業区間: 沖縄県南城市玉城字志堅原 ~ 南城市玉城字中山 延長 : 1.8km (全区間 2車線) 【区間①】(延長0.9km) 南城市玉城字志堅原~南城市玉城字中山 ・平成22年度 2車線供用済 【区間②】(延長0.9km) 南城市玉城字中山 ・平成26年度 2車線供用予定	早期の2車線供用に向けて、事業進捗を図る。	国道331号は、沖縄本島島尻地域の外縁を通過し県都那覇へ至る延長約50kmの主要幹線道路である。中山改良事業は、一般国道331号玉城地区の防災対策及び線形改良を行い、当該地区の観光の発展、交通安全の確保等を目的とした事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。 【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備 <u>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実に努めます。</u> このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。

再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

（港湾） 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価															
⑤	<p>ナハコウ トマリ トウチク リョキヤクセン セイ 那覇港泊ふ頭地区旅客船ターミナル整備事業 ビ ジョウ ナハシ (那覇市)</p>	<p>平成18年度 195億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 那覇港泊ふ頭地区 ・主な事業概要 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>岸壁(水深9m)(耐震)</td> <td>延長</td> <td>340m</td> </tr> <tr> <td>泊地(水深9m)</td> <td>土量</td> <td>約50万m³</td> </tr> <tr> <td>港湾施設用地</td> <td>面積</td> <td>約0.6ha</td> </tr> <tr> <td>臨港道路</td> <td>延長</td> <td>約560m</td> </tr> <tr> <td>防波堤撤去</td> <td>延長</td> <td>80m</td> </tr> </table> ・事業の進捗状況 平成24年度末進捗率；約70% 計画通り進捗している。 	岸壁(水深9m)(耐震)	延長	340m	泊地(水深9m)	土量	約50万m ³	港湾施設用地	面積	約0.6ha	臨港道路	延長	約560m	防波堤撤去	延長	80m	<p>平成21年9月に暫定供用中であり、 今後は、平成20年代後半の完成を 目指し、臨港(アクセス)道路及び 岸壁の整備を鋭意進めることとし ている。</p>	<p>沖縄において、国内外の観光客を受け入れるため、大型クルーズ船に対応した旅客船ターミナルの整備は、極めて重要である。 特に、那覇港においては、国際観光の発展を支援するとともに、貨物岸壁との併用解消による旅客の安全性の確保及び荷役作業の効率性を確保する観点から、旅客船専用の岸壁の整備を図るものである。 本事業は、「大型クルーズ船に対応した岸壁等の整備を推進する」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「那覇港については、(略)クルーズ船の誘致活動を推進するとともに、海洋レクリエーション活動に対応したコースタルリゾート及びウオーターフロントの整備を推進します。」 (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 P60 ウ 観光客の受入体制の整備 「(略)海の玄関口である港湾については、大型クルーズ船に対応した岸壁やターミナルビル等の整備、国際的な観光リゾート地にふさわしいユニバーサルデザインの理念に基づく港湾施設やマリーナ・フィッシャリーナ等の整備を推進する(略)」</p>
岸壁(水深9m)(耐震)	延長	340m																		
泊地(水深9m)	土量	約50万m ³																		
港湾施設用地	面積	約0.6ha																		
臨港道路	延長	約560m																		
防波堤撤去	延長	80m																		

2. 補助事業(沖縄県)
(水産基盤整備事業) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑥	特定漁港漁場整備事業 南大東漁港 (南大東村、北大東村)	平成14年度 18,500百万円	<p>南大東地区 航路・泊地 12,250m²(整備済) 防波堤 230m(整備中) 波除堤 140m(整備済) 物揚場 198m(整備済) 船揚場 40m(整備済) 道路 1,656m(整備済) 用地 2,500m²(整備済)</p> <p>北大東地区 航路・泊地 22,100m²(整備中) 防波堤 440m(整備中) 波除堤 165m(整備中) 岸壁 435m(整備中) 船揚場 30m(整備中) 道路 790m(整備中) 用地 2,770m²(整備中)</p> <p>【事業期間】 平成14年度～28年度</p>	<p>既に暫定供用されている南大東地区では、漁船の大型化や隻数増加により水揚量が増加し、また多くの本島・県外漁船が避難に利用する等、事業効果は発現しており、引続き事業の完成を目指す。 また北大東地区についても供用開始が図れるよう事業を継続して行う。</p>	<p>南北大東島の周辺海域は良好な漁場であるが、断崖絶壁で入り江や漁港がないため、クレーンでの上げ下ろしが可能な小型ボートでしか漁業操業できず、水産業の発展に支障が生じ、更に周辺海域では沖縄本島の漁船も操業を行っているが、南北大東島に漁港がないため、荒天時等にはわざわざ本島の漁港まで避難しなければならない状況であった。 本事業は、南北両島に漁船の大型化や安全な避難に対応した漁港を整備し、水産業振興を通じた沖縄振興を図るとともに災害時等の緊急物資輸送機能を確保しようとするものであり、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」や「亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備」に取り組むとされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (4)社会リスクセーフティネットの確立 P47 イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化 「…漁港における緊急物資輸送機能を有する施設の整備…を図ります。」 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して P76 カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 「…水産物の生産・加工・流通体制の強化、…地震・津波等の災害に強い漁港・漁村づくりに取り組みます。」 P90 (12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 イ 農林水産業の振興 「…漁港・漁場施設の整備…地震・津波等の災害に強い漁港・漁村づくりに取り組みます。」 第5章 圏域別展開 3 圏域別展開の基本方向 P142 (3)南部圏域 イ 圏域の特色を生かした産業の振興 (工)農林水産業の振興 「南北大東地区における漁港の整備をはじめ…推進します。」</p>

2. 補助事業（沖縄県）

(水道) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑦	ウラソエシ 浦添市水道施設整備事業 ウラソエシ (浦添市)	平成15年 83億円	<p>【主な整備事業内容】</p> 取水施設 電気計装設備：3か所 送水施設 送水ポンプ：4台 配水施設 配水管：L=106,530m 送水管：L= 3,530m 配水池：V= 9,873m ³ (3池) 増圧ポンプ：8台	配水池や配水管等の整備を促進し、平成32年度事業完了を図る。	<p>浦添市水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>
⑧	ハエバルチョウ ヤエセチョウ 南部水道企業団水道施設整備事業 (南風原町、八重瀬町)	平成14年 29億円	<p>【主な整備事業内容】</p> 送水施設 送水管：L= 6,731m 配水施設 配水管：L=71,026m 配水池：V= 6,300m ³ (4池)	配水管等の整備を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	<p>南部水道企業団水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>

<p>⑨</p>	<p>イシガキシ 石垣市水道施設整備事業 イシガキシ (石垣市)</p>	<p>平成15年 160億円</p>	<p>【主な整備事業内容】 導水施設 導水管：L=16,188m 原水調整池：V=300,000m³(5池) 取水ポンプ設備：ポンプ3台 電気計装設備：自家発電設備2機 浄水施設 電気計装設備：自家発電設備1機 送水施設 送水管：L=5,780m 送水ポンプ：4台 配水施設 配水管：L=48,834m 配水池：V=2,000m³(1池)</p> <p>【工期】 平成15年度～平成32年度</p> <p>【進捗率】 47.9% 今後、原水調整池建設等の大規模工事を予定しているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	<p>原水調整池及び配水管等の整備を促進し、平成32年度事業完了を図る。</p>	<p>石垣市水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。 また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性の応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>
<p>⑩</p>	<p>ナキジソン 今帰仁村水道施設整備事業 ナキジソン (今帰仁村)</p>	<p>平成14年 21億円</p>	<p>【主な整備事業内容】 取水施設 取水ポンプ設備：ポンプ1台 導水施設 導水管：L=3,500m 浄水施設 浄水場：緩速ろ過池、浄水池等 送水施設 配水管：L=35,016m 送水ポンプ：2台 配水施設 送水管：L= 3,500m 配水池：V=2,000m³(1池) 増圧ポンプ：4台</p> <p>【工期】 平成14年度～平成28年度</p> <p>【進捗率】 66.7% 今後、配水池建設等の大規模工事を予定しているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	<p>配水池及び配水管等の整備を促進し、平成28年度事業完了を図る。</p>	<p>今帰仁村水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。 また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性の応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>